

見直して。。。 あなたの街、

川、みち

川はごみ捨て場？

舟入川や新川など、市の中心部を流れる川は、まるで「ごみの川」です。特に舟入川は、毎年行われる一斉清掃もいたちごっこに思えるほどごみの量は増える一方。流れが緩やかになる篠原には、空き缶や空き瓶、発泡スチロールが驚くほどたくさん浮かんでいます。そのほとんどが一見して家庭のごみ。

だり、洗濯したりと、地域の人々の生活に密着していましたが、地域とのつながりが薄くなるにつれて川は汚れていきました。

市民一人一人が、「不法投棄は絶対に許さない」という姿勢で、以前の美しい流れを少しでも取り戻したいものです。

この舟入川も、昔は水がきれいで、子供たちが泳いでいた。

舟入川には家庭からのごみが浮かんでいる



川干のときには毎年流域の皆さんが清掃



片山の不燃物処理場には約150tのごみが集められた

六月七日には約四千人が参加して一斉清掃を行った



ポイ捨てをしないようドライバーに呼びかけた

南国バイパス沿いを清掃する青年団員



信号の近くの空き地には空き缶がいつばい



ドライバーの皆さん マナーを守って

暑くなると缶ジュースなどを飲む機会が多くなり、すね。飲み終わった後の空き缶、どうしてますか。

六月五日から十一日まで環境週間が実施され、市内では七日、婦人会や老人クラブ、連合青年団など約四千人が参加して一斉清掃が行われました。早朝から側

溝や道路などを清掃、この日片山にある不燃物処理場には約百五十tのごみが集められました。その中にはかなりの量の空き缶や空き瓶がありました。

特に、国道三十二号線沿いの成合では、空き缶がちり袋に四十袋、四トラック一台分。また、連合青年団が清掃した南国バイパスのグッドラックからサニーマーケットまでの間でも、空き缶や空き瓶が十八袋にいつぱい集まりました。信号の近くの空き地には必ずたくさん空き缶が転がっており、清掃していた団員が、「こりゃあ信号待ちのときに捨てようがよ」とつぶやくほど。

ドライバーの皆さん、あなたは大いじょうぶですか。